

問1	1世紀頃、日本（倭）の小国の王が中国の漢（後漢）の皇帝に使いを送り、皇帝から臣下として認められた証として授けられたとされる金印には、どのような文字が刻まれていますか。（2019年 長野県公立入試 類似）			
	1. 漢委奴国王	2. 志賀島	3. 卑弥呼	4. 親魏倭王
問2	弥生時代における「ムラ同士の争い」は、その後の日本の社会構造にどのような変化をもたらしましたか。当時の社会の流れとして最も適切な説明を選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）			
	1. 争いを通じて周辺のムラが統合され、クニと呼ばれる強力な政治的まとまりが形成された	2. 争いを避けるために人々が再び移動生活に戻り、定住する集落が一時的に消滅した	3. すべての人が平等に食料を分配する仕組みが作られ、身分の差が完全になくなった	4. 争いを鎮めるために、各集落が完全に独立したまま交流を断つ鎖国のような状態になった
問3	3世紀の中国の歴史書において、邪馬台国の女王卑弥呼が30ほどの小国を従え、倭の王として交流したことが記されている当時の中国の王朝名を答えなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）			
	1. 魏	2. 漢	3. 隋	4. 秦
問4	縄文時代に続く弥生時代に使われた土器は、それ以前の縄文土器と比べて薄くて硬く、赤褐色をしていることが多いという特徴があります。この土器の名称として正しいものはどれか。（2016年 鳥取県公立入試 類似）			
	1. 須恵器	2. 弥生土器	3. 土師器	4. 黒色土器
問5	日本の「奴国」が中国の後漢から金印を授かった紀元1世紀前後の、日本と世界の情勢について述べた文として、背景や関連性が正しいものはどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 奴国の王は、イスラム教の影響を受けた後漢の制度を取り入れるために金印を求め、パレスチナでは十字軍の遠征が始まっていた。	2. 奴国の王は、インダス文明との交易を有利に進めるために後漢へ使者を送り、同時期に中国では仏教が日本へ伝来した。	3. 奴国の王は、織田信長が行った楽市・楽座のような自由貿易を求めて後漢と交渉し、同時期のヨーロッパでは大航海時代が幕を開けていた。	4. 奴国の王は、中国の皇帝との外交関係を築くことで自国の地位を高めようとし、同じ頃の世界ではローマ帝国の繁栄とともにキリスト教が成立し始めていた。
問6	江戸時代に志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印や、3世紀の歴史書に記された卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かったという記述は、当時の日本と中国のどのような関係を示していますか。（2021年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 中国の皇帝が日本の優れた統治体制に学び、日本の王に中国の政治顧問を依頼した関係	2. 日本と中国が対等な立場での自由貿易を約束し、称号の交換を経済的な儀礼とした関係	3. 日本が中国の王朝に対して軍事的な圧力をかけ、金印や称号を無理やり奪い取った関係	4. 中国の皇帝に臣下として礼を尽くすことで、自らの支配権の正統性を認めてもらう関係
問7	1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 山口県公立入試 類似）			
	1. 魏	2. 秦	3. 漢	4. 隋
問8	弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった金属器のうち、硬くて鋭利な特徴を活かして、木工具や農具、武器などの実用的な道具として広く普及したものは何ですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 石器	2. 土器	3. 鉄器	4. 青銅器
問9	弥生時代の祭祀で使われた青銅器のうち、釣鐘のような独特の形状をした道具について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 土でつくられ、古墳の周囲に並べることで死者の霊を慰める役割を果たした。	2. 非常に鋭い刃を持ち、敵と戦うための武器や木材を加工する工具として使われた。	3. 仏教の伝来とともに寺院に設置され、人々に時刻を知らせるために打ち鳴らされた。	4. 表面に当時の狩猟や農耕の様子、生活風景を反映した文様が刻まれている。
問10	『魏志』倭人伝などの中国の歴史書に記述が見られ、3世紀ごろに争乱が続いていた倭国を治めるため、邪馬台国の女王として共立された人物は誰か。（2016年 北海道公立入試 類似）			
	1. 持統天皇	2. 神功皇后	3. 推古天皇	4. 卑弥呼
問11	兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。（2021年 大阪府公立入試 類似）			
	1. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である	2. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である	3. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である	4. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である
問12	弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。（2021年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの間で争いが起こるようになった。	2. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。	3. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。	4. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。
問13	弥生時代の遺跡からは、中央に2つの穴が開いた半月形の石器が数多く出土します。この道具を用いた当時の収穫方法と、その特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 石器の鋭い側面を使い、脱穀のために稲の茎から籾をこすり落としていた。	2. 複数の石器を組み合わせ土を掘り起こし、田植えの前の耕作に使用していた。	3. 穴に長い木の柄を取り付け、稲を根元から一気に刈り取る「根刈り」を行っていた。	4. 穴に紐を通して指にかけ、熟した稲の穂先のみを摘み取る「穂首刈り」を行っていた。